

□ 主な内容

【平成 26 年度に開催するセミナーの参加者募集中！】

以下のセミナーの参加者を募集しています。皆様のご参加をお待ちします。

〔11/6〕第 16 回バリアフリー推進ワークショップ「ロンドンにおけるオリンピック・パラリンピックの交通に関する調査報告会」

<http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/benkyo/20141106.html>

〔11/11〕第 17 回バリアフリー推進ワークショップ「発達障害者を知る！～当事者研究とコミュニケーション支援の最前線～」

<http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/benkyo/20141111.html>

〔11/8,9〕くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2014

<http://zenkokuforum.jimdo.com/>

〔11/19〕平成 26 年度エコドライブシンポジウム

http://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/data/ecodrive_sympo14.pdf

〔11/28〕第 5 回地域バス交通活性化セミナー「みんなで支えるバス～事業者、自治体、市民それぞれの立場で考える～」

http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/5th_seminar.html

□ 目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 99 回)

●「札幌大通地区における若者のまちづくり WS」

【一般社団法人 北海道開発技術センター 地域政策研究所
主任研究員 大井 元揮】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 99 回)

●「三沢市コミュニティバス『みーばす』の運行と利用促進の取組」

【三沢市政策財政部政策調整課 係長 岩織 香奈子】

3. ニュース／トピック

●平成 26 年度まち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業の採択結果の公表について【国土交通省】

●「超小型モビリティの導入促進」事業の対象案件の決定について【国土交通省】

●「地域交通グリーン化事業」の対象案件の決定について【国土交通省】

●平成 26 年度「モーダルシフト等推進事業」(補助事業)の認定について【国土交通省】

- 「家庭からの二酸化炭素排出量の推計に係る実態調査 全国試験調査」の実施について【環境省】
- 平成 26 年度カーボン・オフセット特定地域協議会運営委託業務の公募に係る採択結果について【環境省】
- 関東運輸局環境対策アクションプラン(平成 26 年度版)の策定について【関東運輸局】
- 平成 26 年度交通環境対策アクションプランの策定について【中部運輸局】
- 西風新都における超小型モビリティの実証実験の実施について【広島市】
- 薩摩川内市甕島における、EV リユース蓄電池導入による共同実証事業について【薩摩川内市、住友商事株式会社】
- 準天頂衛星を利用した EV バスの導入について【株式会社東芝】
- 電化フロア電動カートの開発について【大成建設株式会社、国立大学法人豊橋技術科学大学】
- 大規模施設の温室効果ガス排出量(2013 年)を発表【アメリカ環境保護庁】
- 連邦内閣が電気自動車法案を承認【ドイツ連邦環境省】

4. イベント情報

- モーダルシフト講演会【2014/10/30】
- 第 16 回バリアフリー推進ワークショップ「ロンドンにおけるオリンピック・パラリンピックの交通に関する調査報告会」【2014/11/6】
- 第 17 回バリアフリー推進ワークショップ「発達障害者を知る！～当事者研究とコミュニケーション支援の最前線～」【2014/11/11】
- みんなで楽しむ！学ぶ！「とやまエコドライブ講習会 & コンテスト 2014」【2014/11/8】
- くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2014【2014/11/8-9】
- グリーン物流セミナー(海上版)-今こそ海へのモーダブルシフト-【2014/11/13】
- 環境(エコ)フェスタたいとう 2014 フォーラム「エコ交通によるまちづくり」-自転車・バス・LRT(次世代型路面電車)・舟運を組み合わせ、歩いて楽しい「エコのまち大浅草」を創ろう-【2014/11/15】
- 平成 26 年度エコドライブシンポジウム【2014/11/19】
- 第 5 回地域バス交通活性化セミナー「みんなで支えるバス～事業者、自治体、市民それぞれの立場で考える～」【2014/11/28】
- 第 12 回 ITS シンポジウム 2014【2014/12/4-5】
- エコプロダクツ 2014(第 16 回)【2014/12/11-13】

5. その他

- EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 99 回)

●「札幌大通地区における若者のまちづくり WS」

【一般社団法人 北海道開発技術センター 地域政策研究所
主任研究員 大井 元揮】

札幌の都心大通地区では、都市再生推進法人札幌大通まちづくり株式会社为中心となり、都心の活性化に向け、国道 36 号の歩道上でのオープンテラス(「大通すわろうテラス」)の設置や自転車の違法路上駐輪に対するアプローチなど、歩行者天国による都心の賑わい創出など、様々な取組みが実施されています。

このような中、7 月 19 日 20 日と北海道大学や室蘭工業大学、北海学園大学、東京大学の学生のほか、NPO 法人 ezo rock という環境 NPO で札幌のコミュニティサイクル「ポロクル」の運営を行う若者が延べ 74 人が参加しての、これからの札幌都心について考える WS を開催し、歩行者天国とした国道上で、WS の議論結果を発表する取組みが実施されました。

今後、札幌のまちを公私ともに使っていくであろう若者達が考えた道路空間は、様々なモビリティが混在する道路を単なる移動空間として捉えるのではなく、各道路空間の現状の使われ方を踏まえての「道路への性格付けと誘導」や来年度路面電車が延伸することが決定している区間については、「トランジットモール」や「車道の広場化」など、様々なアイデアが出されました。

彼らの提案内容について、概ね共通していることは、都心の道路をこれまでのようなクルマ優先の空間とするのではなく、歩行者、自転車、路面電車、路線バスによりアクセスし、安全・安心に歩ける空間をまちに作ることでした。

昨今、若者のクルマ離れが各種既存データによっても確認されるところですが、インフラ整備についても、この状況を十分に踏まえ計画していかなければならないと感じるとともに、さらに、今後のまちの主角となっていく若者達を、単なるニーズや行動把握をする対象と捉えるのではなく、共に活動する対象として考えていくことが重要と強く感じたところであります。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 99 回)

●「三沢市コミュニティバス『みーばす』の運行と利用促進の取組」

【三沢市政策財政部政策調整課 係長 岩織 香奈子】

青森県三沢市では、市立三沢病院の郊外移転に伴うアクセス確保や、公共交通相互の結節機能の強化、中心市街地活性化への対応など地域の課題解決を図るため、『まちづくりを支え、市民に愛され、信頼される公共交通』を基本理念とする「三沢市地域公共交通総合連携計画」を平成 22 年 3 月策定、同年 11 月からは、市全域を対象に、従来の 100 円バスと路線バスを一体的に再編したコミュニティバス「愛称:みーばす」の実証運行を開始し、利用者要望や効率的なルート・ダイヤへの対応のため 3 回の路線再編を経て平成 24 年 4 月から本格運行しています。

「みーばす」の実証運行開始とあわせて、公共交通ガイドの作成のほか、バス方向幕に運賃体系の違いを知らせる“かめとうさぎ”のイラスト表示、バスの愛称やラッピングデザイン公募など『市民に愛されるわかりやすいバス交通プロジェクト』を進めてきました。また、『利用者にやさしい利用環境プロジェクト』では、市役所、市立病院、駅などの主要拠点に簡易型バス運行情報システム「あしあとランプ」を導入するなど独自の取組を展開しています。

最近では、企画割引乗車券の発行や商工会と連携した中心市街地誘客対策、バスの乗り方案内リーフレットの作成のほか、商業者を対象としたワークショップ開催、地域イベントでの PR、小学校でのバスの乗り方教室の実施などモビリティ・マネジメントにも取り組んでいます。

その結果、これまで年々減少傾向にあったバス利用者は微増傾向に転じるとともに、市民の「みーばす」満足度向上(H21 年度→H25 年度比で約 1.6 倍増)、バス無関心層の減少(H21 年度→H25 年度比で約半減)などの効果が出ています。また、バス接近情報へ機能拡張を図った「あしあとランプ」は認知度や利用状況が大幅に向上し、利用者のバス待ち環境の改善に寄与しています。

市では、人口や都市の規模に相応しい取組を基本に、今後も環境負荷の少ない公共交通利用への転換に向けた市民意識醸成と行動喚起を進めるとともに、利用者・事業者・市など、地域交通に関わる各主体の参加する「三沢市地域公共交通会議」を母体として、継続的に路線再編や利用促進の企画・立案・実施・評価の PDCA サイクルを進めていきたいと考えております。

3. ニュース／トピック

●平成 26 年度まち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業の採択結果の公表について【国土交通省】

国土交通省では、平成 26 年度の本事業に係る構想策定を支援する提案の公募を実施し、応募のあった提案内容について、外部有識者等により構成された審査会の結果を踏まえ、5 地域の提案者を支援対象として採択しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000099.html

●「超小型モビリティの導入促進」事業の対象案件の決定について【国土交通省】

国土交通省では、超小型モビリティの普及や関連制度の検討に向け、成功事例の創出、国民理解の醸成を促す観点から、地方公共団体等の主導によるまちづくり等と一体となった先導導入や試行導入の優れた取組みを重点的に支援する「超小型モビリティの導入促進」事業を実施しています。この度、応募のあった事業計画について、外部有識者による評価結果も踏まえて選定し、本事業の支援対象とする案件を決定しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000133.html

●「地域交通グリーン化事業」の対象案件の決定について【国土交通省】

国土交通省では、環境性能に特に優れた電気自動車の普及を効果的に加速し、低炭素まちづくりや地域・交通事業のグリーン化を推進する観点から、電気バス・電気タクシー・電気トラック等を活用し、他の地域や事業者による電気自動車の導入を誘発し急速に普及が伝播するような先駆的事业を行う自動車運送事業者等を重点的に支援する「地域交通グリーン化事業」を実施しています。この度、応募のあった事業計画について、外部有識者による評価結果も踏まえて選定し、本事業の支援対象とする案件を決定しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000134.html

●平成 26 年度「モーダルシフト等推進事業」(補助事業)の認定について【国土交通省】

国土交通省では、温室効果ガスの排出削減による地球温暖化の防止と低炭素型の物流体系の構築を図るため、荷主企業及び物流事業者等、物流に係る関係者によって構成される協議会が実施するモーダルシフト等の取組みを支援する「モーダルシフト等推進事業」(補助事業)を実施しています。この度、応募のあった 23 件について、外部有識者からなるモーダルシフト等推進事業評価委員会の意見を踏まえ、8 件の事業を認定しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000148.html

●「家庭からの二酸化炭素排出量の推計に係る実態調査 全国試験調査」の実施について【環境省】

環境省では、家庭からの CO2 排出実態の把握を目的として、政府統計の整備に向けた検討を進めています。平成 24～25 年度には総務省より統計法に基づく一般統計調査の承認を得て、関東甲信地方及び北海道地方の一般世帯を対象とした試験調査を実施しました。本格実施に向けた最終的な検証を行うため、平成 26 年 10 月から平成 27 年 9 月まで、全国 10 地方の 15,000 世帯を対象とした全国試験調査を実施いたします。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18714>

●平成 26 年度カーボン・オフセット特定地域協議会運営委託業務の公募に係る採択結果について【環境省】

環境省では、カーボン・オフセットの普及及び J-クレジット等の市場活性化を目指し、各地域においてカーボン・オフセットや J-クレジット等の売り手と買い手のマッチング支援を実施する特定地域協議会を募集し、協議会活動費用を支援します。都道府県、市町村、企業団体を対象に公募を行った結果、14 件採択しましたので、お知らせします。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18704>

●関東運輸局環境対策アクションプラン(平成 26 年度版)の策定について【関東運輸局】

関東運輸局では、「地球温暖化問題への取組」、「大気汚染・海洋汚染問題等への取組」、「循環型社会の形成に向けた取組」、「行政の率先的取組及び環境意識の普及啓発」の 4 つの柱をたてた関東運輸局環境対策アクションプランを策定しました。

http://www.tb.mlit.go.jp/kanto/press/date/1409/te_p140926.pdf

●平成 26 年度交通環境対策アクションプランの策定について【中部運輸局】

中部運輸局では、地球温暖化をはじめとする環境問題に関し、皆様のご理解とご協力のもと、交通環境対策を積極的に推進しております。今般、平成 25 年度における取組みの評価を踏まえ、「平成 26 年度交通環境対策アクションプラン」を策定しました。

<http://www.tb.mlit.go.jp/chubu/kisya014/koukan120140926.pdf>

●西風新都における超小型モビリティの実証実験の実施について【広島市】

西風新都では、昨年 6 月に策定した「活力創造都市ひろしま西風新都推進計画 2013」に基づき、交通のスマート化を推進しています。公共交通の利用促進や補完、移動の円滑化・活発化、高齢者等の外出機会の増加等を図るため、環境に優しく手軽な車両として注目されている超小型モビリティを活用して、新たなまちづくりの可能性を探る実証実験を開始しました。

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/000000000000/1412309557543/>

●薩摩川内市甑島における、EV リユース蓄電池導入による共同実証事業について【薩摩川内市、住友商事株式会社】

薩摩川内市と、住友商事株式会社は、離島における再生可能エネルギーの利用環境を整備するために、電気自動車の使用済み電池を再利用した大型蓄電池設備を薩摩川内市甑島に導入する共同実証事業の実施に合意し、協定書を締結しました。

<http://www.sumitomocorp.co.jp/news/detail/id=28065>

●準天頂衛星を利用した EV バスの導入について【株式会社東芝】

株式会社東芝では、交通システムとして初めて準天頂衛星を利用して、EV バスの運行位置を把握するシステムを開発しました。準天頂衛星を利用することで将来的に数センチメートル単位で位置を把握することのできるシステムを目指し、本システムを搭載した EV バスの運行を府中事業所内で開始しました。

<http://www.toshiba.co.jp/sis/topics/2014/20140930.htm>

●電化フロア電動カートの開発について【大成建設株式会社、国立大学法人豊橋技術科学大学】

大成建設株式会社では、国立大学法人豊橋技術科学大学と共同で屋内を走行する搬送システムなどの電動カートに対して建物の床からワイヤレスで電力を供給できる「電化フロア電動カート」を開発しました。

http://www.taisei.co.jp/about_us/release/2014/1408923149545.html

●大規模施設の温室効果ガス排出量(2013年)を発表【アメリカ環境保護庁】

アメリカ環境保護庁(EPA)は、国内の大規模施設が排出した温室効果ガス(GHG)データ(2013年)を発表しました。これは EPA の GHG 報告プログラムにより、大規模事業者が2013年に報告したデータをもとに EPA が公表するもので、今回で4年目となります。EPA は発電・輸送両部門の炭素排出削減とエネルギー効率向上への対策を進めており、2012～2025年型乗用車と小型トラック汚染基準や、産業界とのパートナーシップによる排出削減なども実施しています。

<http://yosemite.epa.gov/opa/admpress.nsf/d0cf6618525a9efb85257359003fb69d/58d0225b6c4023ea85257d63005ca960!OpenDocument>

●連邦内閣が電気自動車法案を承認【ドイツ連邦環境省】

ドイツ連邦環境省は、ドイツ連邦内閣が電気自動車法案を承認したことを公表しました。法案では、電気自動車の特権の定義、ナンバープレートにおける目印、駐車と停止に関する規定、バスレーンの利用、進行禁止の廃止などが定められています。法の適用対象には、純電池式電気自動車に加え、環境に配慮したプラグイン・ハイブリッド車や燃料電池車が含まれています。

<http://www.bmub.bund.de/presse/pressemitteilungen/pm/artikel/kabinett-verabschiedet-elektromobilitaetsgesetz/>

4. イベント情報

●モーダルシフト講演会

日時:2014年10月30日(木)14:00~16:10

場所:九州運輸局 7階海技試験場

主催:九州運輸局

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-1006-buturyu.pdf>

●第16回バリアフリー推進ワークショップ「ロンドンにおけるオリンピック・パラリンピックの交通に関する調査報告会」

日時:2014年11月6日(木)13:30~16:30

場所:ソラシティカンファレンスセンター RoomB

主催:公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

<http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/benkyo/20141106.html>

●第17回バリアフリー推進ワークショップ「発達障害者を知る！～当事者研究とコミュニケーション支援の最前線～」

日時:2014年11月11日(火)14:00~17:00

場所:ハービス PLAZA5F 会議室 8

主催:公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

<http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/benkyo/20141111.html>

●みんなで楽しむ！学ぶ！「とやまエコドライブ講習会 & コンテスト 2014」

日時:2014年11月8日(土)9:00~14:30

場所:富山県庁他

主催:富山県、エコドライブとやま推進協議会

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1706/kj00014635.html

●くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2014

日時:2014年11月8日(土)、9日(日)

場所:東洋大学白山キャンパス1号館他

主催:くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会

<http://zenkokuforum.jimdo.com/>

●グリーン物流セミナー(海上版)-今こそ海へのモーダブルシフト-

日時:2014年11月13日(木)13:00~15:30

場所: 宮崎カーフェリー「こうべエクスプレス」船内

主催: 関西グリーン物流パートナーシップ会議(事務局: 経済産業省近畿経済産業局、国土交通省神戸運輸監理部、同近畿運輸局)

<http://www.tb.mlit.go.jp/kinki/press/files/1412900055.pdf>

●環境(エコ)フェスタたいとう 2014 フォーラム「エコ交通によるまちづくり」- 自転車・バス・LRT (次世代型路面電車)・舟運を組み合わせて、歩いて楽しい「エコのまち大浅草」を創ろう-

日時: 2014年11月15日(土)13:00~15:30

場所: 台東区生涯学習センター2F ミレニアムホール

主催: まちづくりハートタウンクラブ 浅草商店連合会交通システム委員会

<http://ecc.jp.net/saito/information41.html>

●平成26年度エコドライブシンポジウム

日時: 2014年11月19日(水)13:30~16:10

場所: 内幸町ホール

主催: エコドライブ普及推進協議会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

http://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/data/ecodrive_sympo14.pdf

●第5回地域バス交通活性化セミナー「みんなで支えるバス~事業者、自治体、市民それぞれの立場で考える~」

日時: 2014年11月28日(金)13:40~16:40

場所: KKR 山口あさくら「扇翠の間」

主催: 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団、国土交通省中国運輸局、みんなが利用したくなる生活交通推進会議

http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/5th_seminar.html

●第12回 ITS シンポジウム 2014

日時: 2014年12月4日(木)、5日(金)

場所: 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

主催: 特定非営利活動法人 ITS Japan

http://www.its-jp.org/event/its_symposium/its_symposium12/

●エコプロダクツ2014(第16回)

日時: 2014年12月11日(木)~13日(土)

場所: 東京ビッグサイト 東ホール

主催: 一般社団法人 産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/eco2013/contact/2014.html>

5. その他

- EST パートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
2013年7月16日から募集を開始し、38団体が参加しています。
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。
http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
<https://twitter.com/officeEST>
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
配信申込はこちらから
<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
<http://www.green-m.jp/>
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html
- 記事募集中！
本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。
EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomor.jp (担当: 熊井)

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>